

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 埼玉県立熊谷高等学校 内田 智生
2. 講師氏名: Dr. David Fabry
3. 同行者氏名: 三好 亮暢 様
4. 実施日時: 平成 29年 2月 13日 (月) 15:25 ~ 16:15
5. 参加生徒: 1年生 24人、 2年生 人、 3年生 人 (合計 24人)
備考: 総合的な学習の時間(化学課題研究)選択者
6. 講演題目: (英文) (To use visible light for chemical transformations of CO2)
(和文) (可視光線を利用した人工光合成について)
※特に講演題目の指定はありませんでしたので、こちらで設定させていただきました
7. 講演概要:
地球温暖化の中で、二酸化炭素を減らす努力がなされている。植物が行っている光合成を人工で行うことができるよう、様々な可視光線を用い二酸化炭素を一酸化炭素にする酸化還元反応を触媒の事を交えながら説明した。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 40 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター(PPT)使用による講演、実験実習なし
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポートあり、本校英語科教員もサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
指定された英語キーワード、Web サイトをグループごとに PC を使って調べた
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
ありません
11. その他特筆すべき事項:
特にありませんが、本年度も大変お世話になりました。